

腹部超音波検査

注意

- 1) 受診される方は の部分のみを記入して下さい。
 2) 消化管ガス・体型などによる描出不良部が発生する為、見える範囲での検査となります。

一般財団法人日本予防医学協会

事業所名	健診日	年	月	日	受診番号			
氏名	氏名(カナ)				データ処理 No.			
お客様ID	生年月日				1次検・2次検 (肝・膵・腎)	年齢	才 男女	
初回	日付	受診No	所見(判定)	[OCR・本人]				
前回 値								
超音波検査に関する問診 / 超音波検査技師記入欄		C	診断	有	疑	部位	大きさ	判定
前回判定が要精査の場合<精密検査の受診 無・有 > 精査部位 肝・胆・胆管・膵・腎・脾・その他() 実施検査(US・CT・MRI・その他) 造影剤の使用(あり・なし) 経過状況(無し・3ヶ月・6ヶ月・1年フォロー・その他) 確定診断() 超音波所見記入欄		肝臓	慢性肝障害	122	132			A2
自覚症状 なし・あり()			脂肪肝	104	114			B1 B2
食時摂取()時間後			肝のう胞	106	116			G1 G2
<肝臓実質評価>			多発性肝のう胞	110	120			C1 C2
辺縁鈍化・表面不整・裏面不整・実質不均一 <脂肪肝評価> 高輝度肝・肝腎コントラスト・脈管不明瞭化・深部減衰 限局性低脂肪化・限局性高脂肪化 <その他肝臓所見> 部位(S1・S2・S3・S4・S5・S6・S7・S8) <所見記入欄>			肝内結石	105	115			R1
			肝内石灰化	109	119			
			肝血管腫	107	117			
			肝腫瘍	/	118			
			その他()					
			胆のう	慢性胆のう炎	402	412		
		胆のう	胆のうポリープ	404	414			B1 B2
			多発性胆のうポリープ	470	480			G1 G2
			胆のう結石	406	416			C1 C2
			胆のう壁在結石	421	431			R1
			胆泥	425	435			
			胆のう腺筋腫症	403	413			
			胆のう壁肥厚	427	437			
			胆のう腫瘍	/	415			
			胆のう摘出	440	/			
			その他()					
		胆管	胆管拡張症	407	417			A2
			胆管結石	408	418			B1 B2
			胆管腫瘍	/	419			G1 G2
			その他()					C1 C2
		腎臓	腎のう胞	304	314			A2
			多発性腎のう胞	324	334			B1 B2
			水腎症	302	312			G1 G2
			腎結石	303	313			C1 C2
			腎内石灰化	306	316			R1
			のう胞腎	344	354			
			腎血管筋脂肪腫	341	351			
			腎腫瘍	/	315			
			腎形成不全	343	353			
			慢性腎不全	308	318			
		腎手術後	401	/				
		その他()						
		膵臓	慢性膵炎	202	212			A2
			膵のう胞	204	214			B1 B2
			膵腫瘍	/	215			G1 G2
			その他()					C1 C2
描出不良部位() 膵臓(H・B・T)		脾臓	脾腫	409	419			A2
			脾のう胞	422	433			B1 B2
			脾内石灰化	423	434			G1 G2
			副脾	502	512			C1 C2
		大動脈	その他()					R1
			腹部大動脈瘤	704	714			A2 B1 B2
			腹部大動脈石灰化	716	726			G1 G2 C1
		その他	その他()					C2 R1
			副腎腫瘍	732	742			A2 B1 B2
			腹部リンパ節腫大	410	420			G1 G2 C1
		その他()					C2 R1	
判定医コメント記入欄		判定医	総合判定		A1: 所見なし			

至急連絡要

A2: 有所見健康 B1: 要経過観察 B2: 経過観察中 G1: 要再検査 G2: 要精密検査 C1: 要医療 C2: 加療中 R1: 判定不能
 当会の超音波検査法は公益社団法人日本超音波医学会に準拠しております

Ver.2.0_20220301改訂